

富山市高齢者保健福祉実態調査の結果について

1. 調査の概要

- (1) 調査内容 高齢者の生活実態、保健・福祉・介護保険に係るサービス、施策・制度等に関する意向等を把握する調査
- (2) 調査地域 富山市全域
- (3) 調査対象 平成28年12月1日現在、65歳以上の方
- (4) 調査対象者数 3,600標本（無作為抽出）200人×18圏域
- (5) 調査方法 郵送による配布と回収
- (6) 調査期間 平成29年2月3日（金）～2月14日（火）
- (7) 業務委託先（調査実施機関） 株式会社ラックス

2. 回答数及び回答率

有効回答数 2,443 標本（67.9%） ※前回調査 67.6%
※地域別回答率 旧富山67.3%、旧大沢野・細入68.5%、旧大山68.5%、
旧八尾・山田68.0%、旧婦中69.0%

3. 調査結果の概要

- ・家族構成は、「家族との同居」と回答した者が80%以上であるものの、そのうち65歳以上の配偶者との同居と回答した者は58.6%であった。また、ひとり暮らし高齢者は前回調査（H26）より、1.5ポイント増加している。
- ・ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯への支援策として、「緊急時の援助・連絡体制の整備」や「地域ぐるみで行う安否確認のための訪問・見守り」が必要との回答が多い。
- ・現在、介護・介助が必要と感じている者が介護・介助が必要になった主な原因として、「高齢による衰弱」が21.9%で最も多く、次いで「骨折・転倒」、「認知症（アルツハイマー病等）」による者が多かった。また、「認知症（アルツハイマー病等）」が原因で介護・介助が必要となったと回答した者は前回調査より4.3ポイント増加している。
- ・日々の生活の中で不安に感じる事として、前回調査（H26）と同じく、「病気に関する事」、「寝たきりになる事」、「認知症になる事」が上位を占めていた。
- ・認知症の人が地域で暮らすための支援策として、「家族等の介護負担を軽減するための施策」、「認知症の介護サービス」、「地域の見守り体制」の充実が必要との回答が多い。
- ・地域包括支援センターを「知っている」と回答した者は前回調査より4.7ポイント増加しているが、一方で「利用したことがある」と回答した者は2.1ポイント減少している。
- ・住み慣れた地域での生活を望む者は多く、在宅での訪問介護サービスやデイサービス又は自宅近くの小規模グループホームを活用したいと回答した者が6割を超える。
- ・介護保険制度における費用負担について、「サービスは少なくてもよいがなるべく低料金で利用したい」と回答した者が前回調査（H26）より14.6ポイント増加した。

(1) 家族構成

ひとり暮らし 13.1% 【11.6%】	家族等と同居 81.8% 【85.1%】	その他 (※)	無回答
----------------------------	----------------------------	------------	-----

※その他（施設入居など）2.0%【1.7%】 【 】は、前回(H26)調査結果

(2) 日中、一人になることがあるか（上記（1）「家族等と同居」されている方のみ）

よくある 29.8% 【28.7%】	たまにある 39.3% 【45.1%】	ない 14.5% 【20.4%】	無回答
--------------------------	---------------------------	------------------------	-----

【 】は、前回(H26)調査結果

(3) 介護・介助が必要になった原因（複数回答可）

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①高齢による衰弱	21.9%	25.3%	▲3.4
②骨折・転倒	20.6%	9.6%	11.0
③認知症（アルツハイマー等）	19.7%	15.4%	4.3
④脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	16.3%	17.4%	▲1.1
⑤心臓病	11.2%	8.8%	2.4
⑥糖尿病	10.7%	10.7%	±0.0
⑦関節の病気（リウマチ等）	8.9%	7.2%	1.7
⑧がん（悪性新生物）	7.8%	5.5%	2.3
⑨視覚・聴覚障害等	6.7%	6.9%	▲0.2
⑩呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）	6.5%	6.1%	0.4
⑪その他	20.8%	17.6%	3.2

(4) 介護・介助をしている人の年齢

65歳未満 39.2% 【36.7%】	65～74歳 25.8% 【22.9%】	75～84歳 15.5% 【20.5%】	85歳以上 8.1% 【8.1%】	無回答
---------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------------	-----

【 】は、前回(H26)調査結果

(5) 生活の中の不安（複数回答可）

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①病気に関すること	58.2	62.6	▲4.4
②認知症になること	51.7	52.1	▲0.4
③寝たきりになること	48.6	54.7	▲6.1
④経済に関すること（生活費など）	26.9	29.4	▲2.5
⑤災害に関すること （地震、火事、水害など）	26.2	32.2	▲6.0
⑥住宅の維持管理に関すること （除雪、庭木の手入れ、修繕など）	25.0	29.2	▲4.2
⑦家族の介護に関すること	20.4	24.4	▲4.0
⑧特ひない	13.5	11.5	2.0
⑨その他	17.8	24.5	▲6.7

(6) 現在の住まいで困っていること（複数回答可）

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①冬季の除雪	22.8%	30.6%	▲7.8
②住宅の修繕等の維持管理	21.3%	26.1%	▲4.8
③庭木の手入れや除草	21.2%	21.2%	±0.0
④生活が不便(交通の便, スーパーがない)	19.5%	19.1%	0.4
⑤玄関や敷居等の段差	9.5%	11.4%	▲1.9
⑥近くに病院や介護保険関連施設がない	6.2%	7.0%	▲1.2
⑦その他	1.4%	1.6%	▲0.2
⑧特になし	35.8%	35.2%	0.6

(7) 外出の頻度

ほぼ毎日（週4，5回以上含む） 47.2% 【53.8%】	週2，3回 30.0% (25.6%)	週1回 9.6% 7.8%	週1回未満 ※	無回答
-------------------------------------	---------------------------	---------------------	------------	-----

※週1回未満（8.4%【5.8%】）

【 】は、前回(H26)調査結果

(8) 趣味や生きがいはあるか

はい 65.9% 【65.6%】	いいえ 27.8% 【16.6%】	無回答
------------------------	-------------------------	-----

【 】は、前回(H26)調査結果

(9) 現在の健康状態

とてもよい 8.0%	まあよい 66.0%	あまりよくない 18.4%	よくない 4.2%
---------------	---------------	------------------	--------------

(10) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいこと（複数回答可）

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①運動(散歩など軽い運動含む)	54.4%	55.6%	▲1.2
②友人との交流	29.6%	30.4%	▲0.8
③趣味や教養活動	27.3%	29.3%	▲2.0
④働くこと	18.8%	18.7%	0.1
⑤家事や家庭内の世話	18.2%	22.8%	▲4.6
⑥地域活動(長寿会や自治会活動を含む)	13.3%	13.3%	±0.0
⑦ボランティア活動	6.5%	7.7%	▲1.2
⑧その他	1.8%	0.9%	0.9
⑨特になし	14.8%	15.6%	▲0.8

(11) 通院の状況

通院している 77.9% 【76.9%】	通院していない 14.9% 【17.1%】	無回答
----------------------------	-----------------------------	-----

【 】は、前回(H26)調査結果

(12) 地域包括支援センターの認知度について

知っている 67.9% 【63.2%】	知らない 25.7% 【31.3%】	無回答
---------------------------	--------------------------	-----

【 】は、前回(H26)調査結果

(13) 地域包括支援センターの利用について

利用したことがある 22.3% 【24.4%】	利用したことがない 71.3% 【73.7%】	無回答
-------------------------------	-------------------------------	-----

【 】は、前回(H26)調査結果

(14) 望ましい介護の生活形態

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①在宅で家族の介護を受けながら暮らし続けたい	23.6%	31.3%	▲7.7
②在宅で訪問介護やデイサービスを活用し暮らし続けたい	30.7%	26.3%	4.4
③自宅の近くにある小規模なグループホームで安心した生活を送りたい	7.5%	4.5%	3.0
④特別養護老人ホーム等のプライバシーの確保された個室で安心した生活を送りたい	11.7%	12.0%	▲0.3
⑤特別養護老人ホーム等で安心した生活を送りたいが、個室にはこだわらない	6.8%	6.1%	0.7
⑥有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい	4.2%	4.6%	▲0.4
⑦その他	1.2%	2.0%	▲0.8

(15) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯に必要な地域での見守りや支援

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①緊急時の連絡・援助体制	31.9%	—	—
②地域ぐるみで行う安否確認のための訪問や見守り	30.3%	55.3%	▲25.0
③簡単な家事援助	9.0%	—	—
④地域におけるひとり暮らし高齢者のマップづくり	8.9%	10.2%	▲1.3
⑤閉じこもりを予防するための誘い出し	8.8%	9.8%	▲10.0
⑥地域の助け合いによる外出支援	4.0%	4.0%	±0.0
⑦老人クラブによる友愛訪問	2.2%	3.9%	▲1.7
⑧その他	1.1%	2.0%	▲0.9

(16) 認知症の人が地域で暮らしていくために必要な支援（複数回答可）

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①家族等の介護負担を軽減するための施策の充実	56.2%	53.1%	3.1
②認知症の介護サービスの充実	44.3%	37.8%	6.5
③できるだけ早い段階から、医療・介護のサポートを利用できる仕組みづくり	36.1%	—	—
④地域の見守り体制の充実	29.8%	36.1%	▲6.3
⑤認知症専門相談窓口の設置	21.1%	16.4%	4.7
⑥認知症を正しく理解するための啓発活動の充実	18.3%	18.4%	▲0.1
⑦認知症の専門医の設置	17.7%	14.4%	3.3
⑧認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場（認知症カフェなど）の設置	16.6%	19.1%	▲2.5
⑨認知症の人や家族を支援するボランティアの育成	13.0%	18.2%	▲5.2
⑩認知症高齢者徘徊 SOS 緊急ダイヤルの登録の推進	11.8%	10.3%	1.5
⑪医療機関など認知症の人と家族に役立つサービスの地域資源マップ	10.2%	—	—
⑫成年後見制度等の活用促進	2.3%	2.2%	0.1
⑬その他	1.5%	0.7%	0.8

(17) 身近に整備してほしい介護・福祉施設等（複数回答可）

項目	今回 (H29)	前回 (H26)	増減
①小規模多機能型居宅介護事業所	37.7%	43.2%	▲5.5
②デイサービスやショートステイの施設	32.5%	35.2%	▲2.7
③筋力向上トレーニングや転倒予防等の介護予防を目的とした施設	28.4%	35.0%	▲6.6
④特別養護老人ホーム等の介護保険施設	26.1%	30.2%	▲4.1
⑤少人数で共同生活を行う施設（グループホーム等）	11.0%	13.1%	▲2.1
⑥有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設	8.9%	13.1%	▲4.2
⑦その他	2.5%	2.2%	0.3

(18) 介護保険制度における費用負担について

現状(1割負担)程度が適当	サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい	それなりの費用負担をしても多様なサービスを受けたい	その他	無回答
34.1% 【59.7%】	33.9% 【19.3%】	12.5% 【9.9%】	6.0% 【2.8%】	

【 】は、前回(H26)調査結果

富山市民意識調査の結果について

1. 調査の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査内容 | 市の施策の満足度や市政への要望などについての考えや意見を伺い、「総合計画」や今後の市政の推進に反映させていくことを目的に実施した調査 |
| (2) 調査地域 | 富山市全域 |
| (3) 調査対象 | 市内に現住する満18歳以上の男女 |
| (4) 調査対象者数 | 6,000標本（無作為抽出） |
| (5) 調査方法 | 郵送による配布と回収 |
| (6) 調査時期 | 平成27年5月 |

2. 回収の結果

回収数 2,349 標本（回収率 39.2%）

※地域別回収率 旧富山38.3%、旧大沢野38.3%、細入38.0%、旧大山39.5%、旧八尾42.3%、山田45.0%、旧婦中34.3%

3. 考察

【問】今後のまちづくりの重点（まちづくりの目標別）

※「人が輝き安心して暮らせるまち」の項目について

今後重点的に取り組むべきであると思う施策についての設問に対し、「高齢者・障害者への支援（介護サービスの基盤整備など）」が、20.4%で平成22年度の調査時より一貫して最も高く、また、「保健・医療、福祉の連携、充実」や介護予防活動の充実が上位5位以内に挙げられている。

